

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2020年度（財）日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会規定によって行う。

2. 招集について

(1) 競技者招集場所はメインスタンドに設置する。

(2) 招集時刻は、その競技開始時刻を基準とし下記のように定める。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック 競技	競技開始25分前	競技開始15分前
フィールド競技	競技開始40分前	競技開始30分前
(棒 高 跳)	競技開始50分前	競技開始40分前
リレー (現地)	競技開始20分前	競技開始10分前

(3) 招集の手順

①招集場所はメインスタンドで行う。メインスタンドへは競技場外の南ゲート階段から入場する。競技者は招集開始時刻にメインスタンドに集合し点呼を受ける。その際、アスリートビブス・スパイクピンの長さ（走高跳12mm以下、その他は9mm以下、先端が鋭利なものは不可）・衣類および競技場内への持込物品等の点検を受けたあと、係員の誘導に従って入場する。

②招集完了時刻に遅れた者は、当該種目を棄権したものととして処理する。

③リレーの招集は、現地招集とする。

④四種競技出場者の招集については最初の種目のみメインスタンドで行うが、2種目以降についてはトラック種目は競技開始時刻の10分前、フィールド種目は20分前に現地に集合完了すること。

⑤競技への出場をやむを得ず棄権する時は、招集開始時刻までに当該選手の監督もしくは選手本人がその旨を競技者に申し出ること。四種競技出場者が途中で棄権する場合は、審判長に申し出ること。（競技規則第200条10）

3. 競技運営について

①トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の番号で示す。

②トラック競技の計時は写真判定(1/100秒)とし、同記録の場合は、より細かく優劣を判定して順位を決定する。(1/1000秒で確認する)

③スタートについては、『イングリッシュコマンドとし、1回目に不正スタートをした者を失格』とする。

但し、1年生のスタートは「イングリッシュコマンド2回目以降に不正スタートをしたものが失格」とする。

④トラック競技のスタートにおいて、「On your marks (位置について)」または「Set (用意)」の合図の後、音声その他の方法で、他の競技者を妨害したときは不正スタートとみなす。（競技規則第162条5(C)）

⑤スタートにおける不適切行為は、競技規則第162条5を適用せず注意にとどめる。

⑥リレー競技のマーカ―は1カ所とし、各自で準備した粘着テープ等を使用する。（競技規則第170条⑩）なお、使用したマーカ―は前走者が撤去すること。

⑦リレーチームの編成メンバーは、その競技会にリレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場できる。ただし、少なくとも2人はリレーに申し込んだ競技者であること。（競技規則第170条10）

⑧リレーチームの編成（オーダー用紙）は、12時から13時の間に、競技場外から中央ゲート前に行き、記録員に提出する。

⑨競技者に対する助力については、競技規則第144条を適用するので十分に気をつけること。

⑩短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。

⑪競技場での競技前の跳躍・投擲練習は、競技役員の手配によって行うこと。

⑫フィールド競技のマーカ―（主催者が準備したもの、または承認したもの）は、2個まで置くことができる。このようなマーカ―が準備されない場合は粘着テープ等を使用してもよい。（競技規則第180条3(a)）

⑬ウォーミングアップは全て補助競技場で行うこと。砲丸・円盤を使つての投てき練習は、競技開始前の公式練習以外は一切禁止する。但し、補助競技場内にメディシンボール等を使った基本練習ができる区域を設ける。その他の場所では一切行わないこと。

（8時45分まではトラックでのウォーミングアップを許可するが、出場選手以外の使用は禁止する。）

⑭800mについては、オープンスタートとする。

⑮跳躍競技のバーの上げ方は次の通りとする。

走高跳 男子	1m30 (練習)	1m35	～1m70 まで	5cm ずつ	1m73 以上	3cm ずつ
(四種)	1m30 (練習)	1m35	～1m70 まで	5cm ずつ	1m73 以上	3cm ずつ
走高跳 女子	1m15 (練習)	1m20	～1m45 まで	5cm ずつ	1m48 以上	3cm ずつ
(四種)	1m15 (練習)	1m20	～1m45 まで	5cm ずつ	1m48 以上	3cm ずつ
棒高跳	2m00 (練習)	2m00	～2m60 まで	20cm ずつ	2m70 以上	10cm ずつ

※走高跳・棒高跳では、最後の一人になり一位が決まるまで、上記のバーの上げ方をする。

⑯競技に使用する用器具は、棒高跳用ポール以外は全て主催者が用意したものを使用しなければならない。また、練習用としても個人の用器具（旗・ボールを含む）を競技場内に持ち込んではいない。

⑰フィールド種目については3回の計測を行う。ただし、2回目以降の記録が1回目の記録に達しない場合は計測しないことがある。

⑱四種競技の競技順は次の通りとする。

男子 — 110mH・砲丸投・走高跳・400m

女子 — 100mH・走高跳・砲丸投・200m

4. アスリートビブスについて

①競技者は、競技中、胸と背にはっきりと見えるように2枚のアスリートビブスをつけなければならない。

跳躍種目については、胸または背につけるだけでもよい。アスリートビブスはプログラムに記載のものと同じナンバーでなければならない。（競技規則第143条⑦）

②トラック競技出場者は、腰ナンバーカードをランニングパンツ右側上部やや後方につける。

（腰ナンバーカードは招集時に受取り、競技終了後ゴール地点で返却する。）

5. その他

①応援は、声を出さずに拍手で行うこと。

②選手の出入りは補助競技場出入口（第2コーナー）のみとし、走幅跳・三段跳の選手以外は本部前の通行は禁止する。

③選手・役員・補助員以外は競技場に立ち入ることはできない。付き添いは助力とみなされ失格の対象になる。

④貴重品の管理は各自で責任を持って行い、ゴミは各自・各校で責任を持って処理すること。（持ち帰る）

⑤不審者や不審な行為を見つけた場合はすみやかに近く競技役員に連絡すること。

⑥競技中に発生した傷害・疾病については、応急処置は主催者でおこなう。その後の処置については、各校の責任において、日本スポーツ振興センターの定めを適用する。

⑦遊びや、買い物で顧問の許可なく勝手に公園外に出たりしないこと。

⑧他校生とのトラブルに発展するような行為や、悪ふざけ等マナーの悪い行為は慎む。競技会に影響するような問題が発生した場合、当該校の出場を取りやめる処置をとる場合がある。

⑨競技場内への携帯電話・トランシーバーなど、指導者からの助力を得ることが疑われる物の持ち込みは一切禁止とする。